

■この広報紙にあなたが写って
いましたら、総務課企画係（☎82-4111内線 215）へご連絡ください。
写真をさしあげます。

お誕生日おめでとう
6月生まれ

申し込みは毎月10日まで（3歳まで）

三人兄弟の真中のせいか、妹と一緒に遊んだり、車遊びに毎日夢中です。それにお父さんのことが大好きなんです。とにかく伸び伸びと育ってほしいですわいお母さん。



みずだいすけ
清水大介くん
(西長島・光雄さんの二男)
昭和61年6月10日生まれ

いまは一人なんですけど、もうすぐ（秋）お姉ちゃんになります。外遊びが大好きで、いつもおばあちゃんとお遊んでいます。これから、誰からも愛されるような素直な娘に育ってほしいとお父さん。



ごとうちさと
後藤智里ちゃん
(和納3区・聡さんの長女)
昭和61年6月13日生まれ



和小で田植え体験学習

先月十三日、和納小学校で毎年恒例の児童による田植え体験学習が行われました。この田植え作業、児童たちにとっては年一回の楽しい体験とあってウキウキ、ソワソワ。この日はコシヒカリの苗が用意され、苗を手にした児童たちは、はじめは慎重に田植えをしてきたものの、終りころには手や足を泥まみれしながら、この体験学習を楽しんでいました。

「大きくなると」と願いを込めて楽しい体験学習

最近、テレビや新聞などで青少年などによる非行、犯罪が多く取り上げられています。そんなことで、八年前から村内でも、教育委員、公民館運営審議委員をはじめとする村内各種団体や機関の代表者たちで、「青少年育成村民会議」を結成し、青少年の健全な育成に取り組んでいます。そこで、今月号の

「この人」は、四月の青少年育成村民会議で新しく会長（二代目）に選ばれた広野孝二さん（和納九区・47歳）をご紹介します。この会と私の出会いは、そもそも私が和納PTA会長時代の七年前です。村民会議の発足は八年前で、会に賛同する個人及び団体を組織しています。会の目的は、次代を担う心身ともに健やかな青少年を育成することにあります。連日テレビ、新聞をにぎわす非行や犯罪は、時代と共に悪質化し、増加しています。都会は犯罪の病巣ですが、情報化、高速化した現在、当村も他人ごとで済まされなくなってきましたね」と入会のきっかけと現状を話す広野会長さん。



「次代を担う青少年を心身共に健やかに育てるための一助でもできたら」と広野さん。

「その会と私の出会いは、そもそも私が和納PTA会長時代の七年前です。村民会議の発足は八年前で、会に賛同する個人及び団体を組織しています。会の目的は、次代を担う心身ともに健やかな青少年を育成することにあります。連日テレビ、新聞をにぎわす非行や犯罪は、時代と共に悪質化し、増加しています。都会は犯罪の病巣ですが、情報化、高速化した現在、当村も他人ごとで済まされなくなってきましたね」と入会のきっかけと現状を話す広野会長さん。

「この人」は、四月の青少年育成村民会議で新しく会長（二代目）に選ばれた広野孝二さん（和納九区・47歳）をご紹介します。この会と私の出会いは、そもそも私が和納PTA会長時代の七年前です。村民会議の発足は八年前で、会に賛同する個人及び団体を組織しています。会の目的は、次代を担う心身ともに健やかな青少年を育成することにあります。連日テレビ、新聞をにぎわす非行や犯罪は、時代と共に悪質化し、増加しています。都会は犯罪の病巣ですが、情報化、高速化した現在、当村も他人ごとで済まされなくなってきましたね」と入会のきっかけと現状を話す広野会長さん。

ひろのひと

No. 20

ひろの
広野孝二さん（和納九区）

最近、テレビや新聞などで青少年などによる非行、犯罪が多く取り上げられています。そんなことで、八年前から村内でも、教育委員、公民館運営審議委員をはじめとする村内各種団体や機関の代表者たちで、「青少年育成村民会議」を結成し、青少年の健全な育成に取り組んでいます。そこで、今月号の

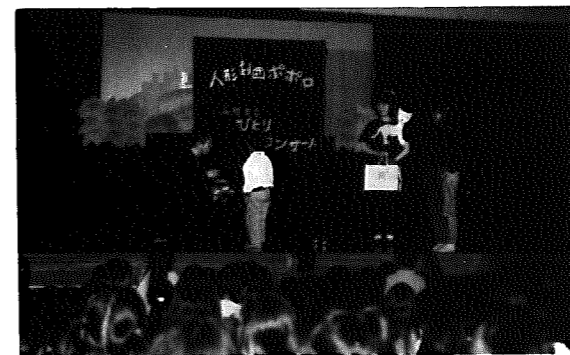
を目標に掲げ、役割を担いながら地域懇談会、少年主張大会を柱に成果を挙げてくださいました。「当会の地道な活動は、他町村に劣らず生き生き活動しています。それに、後手（活動も）に成らないように先取りした前向きな姿勢です。ですから、この活力を守り育てることが私に課せら

させたものです。そして、互いに人格を認め合い社会に必要な一員として良面をたたえ合い、生きる価値を知れば非行は生まれません。それに自然を愛すること、働くこと、芸術、スポーツなどに取り組みことです。そうして、各々が自分に合った目標を持ち参加し、生涯学習を目指すならば、生きがいが見い出せ、健全な社会を築くことができると思います」と人間関係の大切さと自分自身で目標を持って生きる事の大切さを話す広野さんです。そんな広野さんの生きがいは、絵の勉強をすること、自然の風景をぼんやりと見ることが好きとのこと。それにスポーツも中学時代から続けている野球。現在も野球クラブに所属し活躍している広野さんでもあります。

地域に生の舞台芸術を

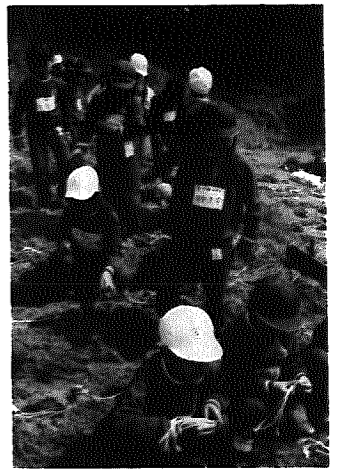
—「おやこ劇場」—

生の舞台芸術を通して、良いものに感動する心を育み、健全な子供たちを育てよう。——と先月21日、公民館で「おやこ劇場」が開かれました。会場には、約250人の親子が集まり、楽しい歌や人形劇（100万回生きたネコ）などに、楽しいひとときを過ごしました。



間小で楽しみながら
サツマイモの苗植え

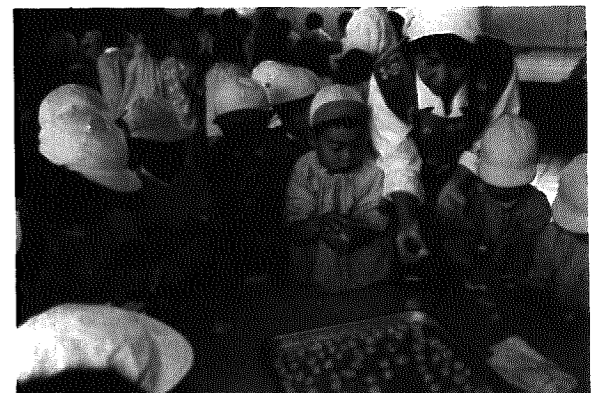
一方、こちら間瀬小学校でも野菜作りを通して体験学習をと、先月十日学校協会の実習畑でサツマイモの苗植えを行いました。児童たちも毎年のこととあって手慣れた手つきで作業も順調に進み「今年もたくさん採れるといいね」と期待を込めながら植込んでいました。



エプロン姿も勇ましく

—中央保育園よもぎだんご作り—

うまくできたよ、かわいいでしょ、と楽しそうな園児たち。先月12日、中央保育園で「よもぎだんご作り」が行われました。この日は、よもぎ草と練られただんごを1コ1コちぎったり、丸めたりと悪戦苦闘した園児たち。出来上っただんごは3時のおやつにだされ、おいしそうに食べていました。



突き蹴りでめざせ国体

先月二十一日、村民体育館で県民体育大会と第四十四回国体空手道競技の出場権をかけた予選会が開催されました。当日は約二百人の出場者で場内は熱気と歓声の渦。試合は、組手の部と型の部に分かれ、日ごろの鍛錬の成果を十分に発揮した熱戦が続出していました。

